

2023年10月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+26.9	柏 店 ※3	△2.6
堺 店	+1.1	(株)高島屋各店計	+10.0
京 都 店 ※1	+20.4	(株)高島屋各店計 ※4	+11.4
泉 北 店	△2.0	岡 山 高 島 屋	+7.2
日 本 橋 店	+12.0	岐 阜 高 島 屋	+10.2
横 浜 店 ※2	+1.1	高 崎 高 島 屋	△5.4
新 宿 店	+1.5	国 内 百 貨 店 計	+9.5
玉 川 店	+7.9	国 内 百 貨 店 既 存 店 計 ※4	+10.8
大 宮 店	△6.1		

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

また、9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それを調整した実質では前年比+23.2%となります。

※2 2023年2月に営業を終了した「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」の前年実績を除いた実質では前年比+3.2%となります。

※3 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

※4 2023年1月に営業を終了した立川店の前年実績を控除しています。

■ 概況

○10月度の店頭売上高は、国内顧客・インバウンドとも好調に推移し、前年・2018年を上回りました。

高額品が引き続き堅調に推移したことに加え、気温の低下に伴い秋物衣料雑貨にも動きが見られました。

店頭売上高	前年比	+9.5%	2019年比	+33.4% (※)	2018年比	+7.1%
免税売上高	前年比	+164.7%	2019年比	+74.3%	2018年比	+44.9%
免税を除いた店頭売上高	前年比	+2.4%	2019年比	+29.8% (※)	2018年比	+3.9%

(※2019年10月 消費増税)

○店舗別売上高は、大阪店、堺店、京都店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、岡山店、岐阜店が

前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類による14店舗ベース)は、紳士服、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、呉服、子供情報ホビー、スポーツ、リビング、美術、食料品、サービスが前年実績を上回りました。